

図書館だより

NO. 244 2018年9月号
(2018年9月1日発行)

はつかいち市民図書館
電話 (0829) 20-0333
廿日市市下平良 1-11-1

ホームページ <http://www.hiroshima-hatsukaichi-lib.jp/>



雑誌と図書のリサイクル市

保存期限の過ぎた 2016 (平成 28) 年分の週刊誌、2015 (平成 27) 年分の月刊誌、図書館で受け入れをしなかった寄贈本などを無料でお持ち帰りいただけます。

日時 10月6日(土) 10時30分～14時00分

※9時30分から図書館正面の大画面付近にて入場待機列の整理をします。

場所 さくらびありハーサル室 (はつかいち文化ホール1階)

※月刊誌はお一人につき10冊まで(週刊誌・図書は無制限)。

※英字新聞はお一人につき10日分まで。

※子ども向け雑誌等、永年保存の雑誌は対象外です。

※本を入れる袋をご持参ください。

※会場は土足禁止です。靴を入れる袋をご持参ください。

11時30分から
冊数制限は
なくないます。

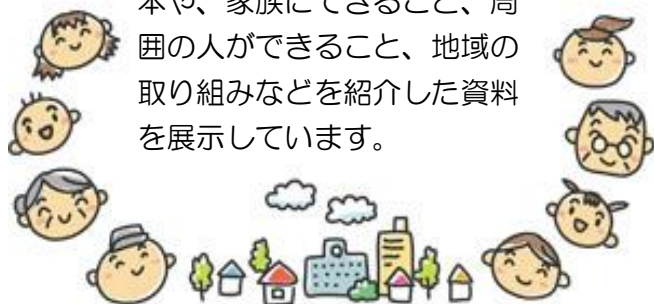


* 今月の展示 *

《中央展示》

『認知症を知るために』

認知症の分類や特徴が分かる本や、家族にできること、周囲の人ができること、地域の取り組みなどを紹介した資料を展示しています。



《企画展示》

『何が入っているか分からないスポーツの本』

職場体験に来た中学生が本を選んで紹介文を書き、何の本か分からないように包んで展示しています。
※数に限りがあるため、お一人につき3冊までの貸出でお願いいたします。

《テーマ展示》

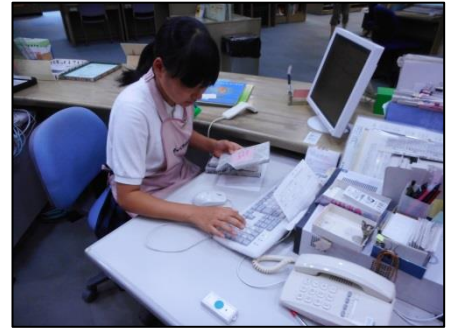
パート2

『もっとメキシコを知ってみよう』

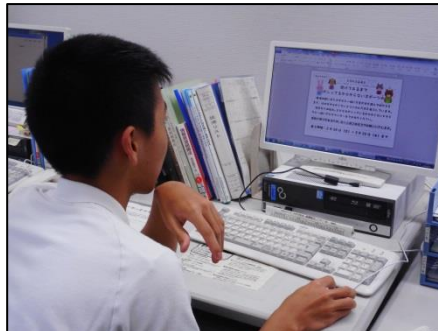
9月2日(日)から春の柔道に続いて、メキシコの空手のオリンピック代表候補選手がやってきます。この機会に、メキシコについてもっと知っていませんか？

展示期間：8月24日(金)～9月26日(水)

中学生の職場体験がありました!



8月21日(火)～24日(金)と27日(月)の5日間、野坂中学校の生徒4名が職場体験に来ました。カウンターでの貸出や返却、配架(返却された本を棚に戻す仕事)、本の修繕などの仕事の他に、企画展示の準備や図書整理日の本の^{せせい}是正(棚の本を請求記号順に並べていく仕事)も体験しました。中学生たちが準備してくれた今月の企画展示は、スポーツの秋にちなんで「何が入ってるか分からないスポーツの本」です。



※今月の「さくらの小部屋」はお休みします。

新しく入った本(一般書)

図書館には1カ月に約500冊の新刊が入ります。その一部を紹介します。

『モンテレッチョ小さな村の旅する本屋の物語』 内田洋子／著 方丈社 024.3/ウ

『ぼくたちは習慣で、できている。』 佐々木典士／著 ワニブックス 159/サ

『原爆』 広島を復興させた人びと 石井光太／著 集英社 217.6/イ

『仕事で必要な「本当のコミュニケーション能力」はどう身につければいいのか?』

安達裕哉／著 日本実業出版社 336.4/7

『経済学者たちの日米開戦』 牧野邦昭／著 新潮社 391.3/マ

『瀬戸内海流域の水環境-里水-』 小野寺真一／[ほか]編著 吉備人出版 452.9/セ

『自分が高齢になるということ』 和田秀樹／著 新講社 S493.7/リ

『ひとつ結びしかできない人のためのヘアアレンジ BOOK』 土田瑠美／[著] 主婦の友社 595.4/ツ

『私の少女マンガ講義』 萩尾望都／著 新潮社 726.1/ハ

『最高の雑談力』 茂木健一郎／著 徳間書店 809.2/モ

『白墨人形』 C.J. チューダー／著 中谷友紀子／訳 文藝春秋 933/チ

『スケルトン・キー』 道尾秀介／著 KADOKAWA F/ミ





『せかいでさいしょのポテトチップス』

アン・ルノー/文 フェリシタ・サラ/絵 千葉茂樹/訳
BL出版 E/¥

料理上手のクラムさんのレストランに、ある日おかしなかつこの紳士がやってきて「ポテトをどっさりたべさせてほしい。ポテトだけを」と注文しました。クラムさんはお客さんにホクホクのフライド・ポテトをつくって出したものの、「ぶあつすぎる」とお皿をつき返されます。そこで、今度はうすく切ったフライド・ポテトを出しますが、「まだぶあつい。それにちっとも味がしない。」と、またお皿をつき返されてしまいます。お皿をつき返されたことなど今までになかったクラムさんはいたずら気分がむくむく起こって…。

実在の人物、ジョージ・クラムをヒントに作られたポテトチップス誕生のおはなしです。

『ぼくのドラゴン』

おのりえん/作 森環/絵 理論社 913/¥

アオバという名前の男の子と、そのあいぼうのドラゴン、アオ。アオバが暮らす村の人には、それぞれに生まれた時から一生のあいぼうのドラゴンがいます。そのドラゴンは自分以外の人の前に姿を現すことはありません。

ある日、ドラゴンのアオは足にケガをして森から帰ってきました。アオバはあわててお父さんとお母さんに助けてもらおうとしますが…。

村の収穫祭で大人の仲間入りをするために畑仕事を任されることになったアオバと、からだが大きくなってもうすぐ背中に羽が出てくるアオ。男の子とドラゴンの成長の物語です。



無事、運べ！！

犬をバスで運ぶには

ある日小学3年生のヘンリーくんは町で、やせてあばら骨が見える犬に出会い「アバラー」と名前をつけます。家で飼うには「バスに乗せて連れて帰ってこなきゃだめ」とお母さんに言われたヘンリーくんは、アバラーとバスに乗ろうとしますが運転手から「箱にいれなきゃだめだ」と言われます。そこでヘンリーくんはお店で特大の段ボールをもらい、それにアバラーを入れて再びバスに乗り込みますが…。

「ヘンリーとアバラー」『がんばれヘンリーくん』(ゆかいなヘンリーくんシリーズ1)より

ベバリー・クリアー/作 松岡享子/訳 ルイス・ダーリング/絵 学研教育出版 933/¥

キリンをトラックで運ぶには

岩手県の動物園でキリンの赤ちゃんが生まれました。名前は「リンゴ」。リンゴが1歳半を過ぎた時、東京の上野動物園にお嫁に行くことが決まりました。こんなに早く！と思うかもしれませんが、リンゴの背はすでに3メートル。日本の法律では高さが3.8メートル以上あるトラックは、多くの道路で走ることができないのです。さあ、リンゴはどんな箱に入って運ばれるのでしょうか？ まずは箱に入る訓練の始まりです。

『キリンの運びかた、教えます-電車と病院も！?-』岩貞るみこ/文 たら子/絵 講談社 680/¥

宇宙のカケラを地球に運ぶには

ボクは、小惑星探査機『はやぶさ』。小惑星「イトカワ」に着陸し、そこにある岩のカケラを持ち帰るのが任務だ。広い宇宙の中で、地球から片道2年もかかるほど遠くにあるイトカワを見つけるのは、まさに冒険そのもの。太陽の嵐にあってソーラーパネルが傷ついたり、姿勢を安定させるコマが故障してめまいを起こしたり。100度を超えるイトカワの地表に倒れた時は、熱さで死ぬかと思ったほどだった。

まるで人間のように『はやぶさ』自身が語る冒険の物語に、思わず手に汗を握り、応援したくなります。

『「はやぶさ」がとどけたタイムカプセル -7年、60億キロの旅-』山下美樹/文 的川泰宣/監修 文溪堂 538/¥

「ぬいぐるみのなつやすみおとまり会」がありました！



8月1日（水）に「ぬいぐるみのなつやすみおとまり会」を行いました。

ぬいぐるみたちだけでおはなし会をしたり、持ち主のために本を選んだり、書庫でお化けに出会ったり…楽しく過ごしたようです。



お迎えの日は、選んだ本と一緒におとまり会の写真のカードを持ち主の皆さんにお渡しして、喜んでもらいました。



図書館利用アンケートにご協力いただき、ありがとうございました！

7月9日（月）～7月22日（日）の期間、図書館利用アンケートを実施しました。
はつかいち館 873 名、大野館 141 名、さいき館 49 名、合計 1063 名の回答をいただきました。
アンケートの結果は次号の図書館だよりでご報告します。

9月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7 ◎	8 ★
9	10	11	12	13	14	15 ◆
16	17	18	19	20	21 ◎	22 ★
23	24	25	26	27 休館	28	29
30						



◎ちいさいこのためのおはなし会

【対象】乳幼児

【時間】1 回目 10時30分～

2 回目 11 時～

※整理券をお渡ししています。
相談カウンターにお申し付けください。

★おはなし会

【対象】幼児～小学校低学年

【時間】1 1 時～

◆ストーリーテリングのおはなし会

【対象】5歳～大人

【時間】1 1 時～

※場所はいずれも図書館会議室です。